



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月6日

上場会社名 株式会社モスフードサービス 上場取引所 東
 コード番号 8153 URL http://mos.jp
 代表者 (役職名) 取締役会長 兼 取締役社長 (氏名) 櫻田 厚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営サポート本部長 (氏名) 福島 竜平 TEL 03-5487-7371
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	49,418	△0.7	1,103	△44.2	1,190	△44.8	603	△63.5
26年3月期第3四半期	49,768	4.4	1,976	20.7	2,155	19.3	1,650	52.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 760百万円 (△60.2%) 26年3月期第3四半期 1,910百万円 (100.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	19.57	-
26年3月期第3四半期	53.54	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	54,654	41,465	75.7
26年3月期	53,207	41,350	77.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 41,395百万円 26年3月期 41,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	10.00	-	12.00	22.00
27年3月期	-	11.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,300	△0.0	1,600	△25.8	1,700	△28.5	600	△65.6	19.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	32,009,910株	26年3月期	32,009,910株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,182,064株	26年3月期	1,181,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	30,828,124株	26年3月期3Q	30,828,827株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内景気に緩やかな回復の兆しが見られるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要のその反動減が長引き、消費全般の基調は、いまだ楽観視できない状況で推移いたしました。

外食業界においても、原材料費の高騰、円安の進行による調達費用の上昇など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」という企業目標の達成に向け、国内モスバーガー事業の収益力強化、海外事業の推進、新業態の開発・推進などに積極的に取り組んでまいりました。

基幹事業であるモスバーガー事業では、当第3四半期連結累計期間における店舗売上高においては前年実績数値を維持しております。

しかしながら、仕入価格高騰、労働需給バランスの変動による人件費の上昇など様々な要因により、経営成績においては、計画値を達成することができませんでした。

当第3四半期の連結経営成績につきましては、売上高は494億18百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益11億3百万円（同44.2%減）、経常利益11億90百万円（同44.8%減）となり、最終損益は固定資産売却益1億36百万円、固定資産除却損68百万円、投資有価証券評価損37百万円、減損損失1億98百万円、火災損失2億37百万円等を計上した結果、四半期純利益6億3百万円（同63.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<モスバーガー事業>

主として以下の施策を展開しました。

①独自性のある期間限定商品の投入

10月に冬の人気商品フォカッチャシリーズから『海老カツフォカッチャ』『ソーセージフォカッチャ』を発売いたしました。イタリアのパンでピッツアの原型ともいわれるフォカッチャは、モスオリジナルの配合により独特の風味と食感が特徴で、多くのお客様の支持をいただきました。11月には辛さがポイントの『凄辛チョリソバーガー』、そして12月には国産肉を100%使用した大人のプレミアムハンバーガー『とびきりハンバーグサンド「ビストロ風マッシュルームソース」』を発売し、豊富なラインナップでお客さまをお迎えいたしました。

②クリスマスキャンペーンの強化

クリスマスキャンペーンの前倒し、予約特典付き引換券「モスチキンチケット」の積極活用、10本入りパックの再投入、テレビCMによる「パーティーシーンの利用想起」などの取り組み強化により、12月度のモスチキン販売本数は前年同時期を約5%上回りました。クリスマス3日間（12月23日～25日）の売上においても約14%増を記録し、「ハレの日」需要をしっかりと獲得することが出来ました。

③ダイレクトマーケティングの推進

モスバーガータウンミーティングを当第3四半期連結累計期間においては計8回、実施いたしました。モスバーガータウンミーティングとは、デジタルなリサーチだけでは得られないお客さまの声を、社長を始め、社員、加盟店オーナーが直接伺う企画で、2011年のスタート以来、39都道府県にて実施しています。

加えて、11月には、「モス カード会員」向けの体験参加型イベント「採れたてトマトのモスツアー」を実施いたしました。静岡県内の自社系農場でのトマトの収穫体験に加え、「モスの野菜」のPR展開についてのグループディスカッションなどを行いました。

④農業生産法人・協力農家との協同

地元の店長やスタッフが協力農家を訪れ、自らが収穫した野菜を店舗にて販売する「モスの産直野菜フェスタ」を当第3四半期連結累計期間においては、18箇所にて実施し、お客さまより好評をいただいております。

国内モスバーガー事業の店舗数につきましては、当第3四半期連結累計期間においては出店18店舗に対し閉店は25店舗で、当第3四半期末の店舗数は1,412店舗（前連結会計年度末比7店舗減）となりました。

海外モスバーガー事業の店舗数につきましては、台湾237店舗（同2店舗増）、シンガポール29店舗（同増減なし）、香港13店舗（同増減なし）、タイ6店舗（同1店舗減）、インドネシア2店舗（同増減なし）、中国（福建省・江蘇省・上海市・広東省）23店舗（同1店舗減）、オーストラリア5店舗（同1店舗増）、韓国10店舗（同3店舗増）となり、海外全体の当第3四半期末店舗数は325店舗（同4店舗増）となりました。

これらの施策により、モスバーガー事業の売上高は463億88百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は24億84百万円（前年同四半期比27.1%減）となりました。

<その他飲食事業>

各業態の当第3四半期末店舗数は、マザーリーフ業態合計で32店舗（前連結会計年度比2店舗増）、「自由が丘 あえんおそうざい」事業2店舗（同増減なし）、株式会社ダスキンとのコラボレーションショップ「モスド」事業1店舗（同増減なし）、「モスコ」事業1店舗（同増減なし）、「四季の旬菜料理あえん」事業6店舗（同1店舗増）、

「シェフズブイ」および「グリーングリル」事業は合計で3店舗（同増減なし）となり、その他飲食店事業合計で、45店舗（同2店舗増）となりました。

以上の事業活動の結果、その他飲食事業の売上高は25億11百万円（前年同四半期比16.8%減）、営業損失は1億47百万円（前年同四半期比91百万円の損失減）となりました。

<その他の事業>

連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスおよび株式会社モスクレジットは、おもにモスバーガー事業やその他飲食事業を、衛生、金融、保険、設備レンタル面で支援しております。

これらによるその他事業の売上高は5億19百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は1億61百万円（前年同四半期比48.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の532億7百万円から14億46百万円増加し、546億54百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から21億13百万円減少し、固定資産は35億59百万円増加しております。流動資産が減少した主な理由は、一時的な資金余剰による現金及び預金の増加と、クリスマス商戦と年末年始の加盟店向けの卸売に係る売掛金が増加した一方で、短期の資金運用の減少により有価証券が減少したためであります。固定資産が増加した主な理由は、公社債の購入により投資有価証券が増加したためであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末の118億57百万円から13億31百万円増加し、131億88百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ15億40百万円増加し、固定負債は2億8百万円減少しております。流動負債が増加した主な理由は、運転資金に係る短期借入金の増加及びクリスマス商戦と年末年始の加盟店向けの販売に係る仕入れに伴う買掛金の増加によるものであります。固定負債が減少した主な理由は、会計基準の改正に伴う会計方針の変更により退職給付に係る負債が減少したためであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度末77.5%から当第3四半期連結会計期間末は75.7%と1.8%減少しております

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月31日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が107,179千円減少し、利益剰余金が69,130千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,782,181	6,842,555
受取手形及び売掛金	4,048,502	5,146,171
有価証券	8,165,559	3,451,566
商品及び製品	2,859,833	3,626,388
原材料及び貯蔵品	323,977	326,580
繰延税金資産	278,053	207,967
その他	1,063,551	813,288
貸倒引当金	△23,989	△29,967
流動資産合計	22,497,669	20,384,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,304,195	9,959,399
減価償却累計額	△6,179,013	△5,819,721
建物及び構築物（純額）	4,125,182	4,139,678
機械装置及び運搬具	294,645	299,344
減価償却累計額	△153,481	△180,133
機械装置及び運搬具（純額）	141,164	119,211
工具、器具及び備品	7,780,013	8,394,061
減価償却累計額	△4,236,888	△4,552,523
工具、器具及び備品（純額）	3,543,124	3,841,538
土地	1,458,249	1,450,420
建設仮勘定	201,316	33,841
有形固定資産合計	9,469,037	9,584,689
無形固定資産		
その他	1,234,509	1,207,264
無形固定資産合計	1,234,509	1,207,264
投資その他の資産		
投資有価証券	11,117,125	13,692,791
長期貸付金	1,633,255	1,588,636
差入保証金	5,337,588	5,247,969
繰延税金資産	183,556	257,576
その他	1,867,256	2,811,391
貸倒引当金	△128,158	△113,749
投資損失引当金	△4,100	△6,500
投資その他の資産合計	20,006,523	23,478,115
固定資産合計	30,710,070	34,270,068
資産合計	53,207,740	54,654,620

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,401,034	4,715,824
短期借入金	448,240	1,358,357
未払法人税等	87,224	232,663
賞与引当金	424,508	226,053
ポイント引当金	9,640	30,992
資産除去債務	38,550	17,464
その他	3,735,455	4,103,662
流動負債合計	9,144,653	10,685,020
固定負債		
長期借入金	130,000	40,000
繰延税金負債	13,623	14,107
退職給付に係る負債	445,705	266,745
資産除去債務	221,885	228,426
その他	1,901,253	1,954,602
固定負債合計	2,712,468	2,503,881
負債合計	11,857,121	13,188,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412,845	11,412,845
資本剰余金	11,100,543	11,100,543
利益剰余金	19,773,588	19,719,594
自己株式	△1,609,620	△1,610,918
株主資本合計	40,677,356	40,622,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279,900	405,569
為替換算調整勘定	292,316	373,973
退職給付に係る調整累計額	△7,527	△5,645
その他の包括利益累計額合計	564,689	773,897
少数株主持分	108,572	69,757
純資産合計	41,350,618	41,465,718
負債純資産合計	53,207,740	54,654,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	49,768,334	49,418,841
売上原価	25,905,411	25,717,696
売上総利益	23,862,923	23,701,145
販売費及び一般管理費	21,886,909	22,597,911
営業利益	1,976,013	1,103,233
営業外収益		
受取利息	45,756	47,409
受取配当金	78,797	54,539
有価証券売却益	10,550	—
設備賃貸料	843,566	630,923
協賛金収入	22,928	777
持分法による投資利益	17,423	8,583
雑収入	139,837	166,839
営業外収益合計	1,158,859	909,073
営業外費用		
支払利息	15,997	16,486
設備賃貸費用	870,781	688,514
雑支出	92,324	117,244
営業外費用合計	979,103	822,244
経常利益	2,155,770	1,190,061
特別利益		
固定資産売却益	57,645	136,859
その他	212	—
特別利益合計	57,858	136,859
特別損失		
固定資産売却損	675	—
固定資産除却損	39,445	68,899
投資有価証券評価損	91,072	37,503
減損損失	272,263	198,766
投資損失引当金繰入額	55,300	6,500
関係会社整理損	—	661
火災損失	—	237,654
特別損失合計	458,757	549,986
税金等調整前四半期純利益	1,754,871	776,935
法人税、住民税及び事業税	423,157	321,196
法人税等調整額	△322,869	△108,290
法人税等合計	100,288	212,905
少数株主損益調整前四半期純利益	1,654,582	564,029
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,040	△39,210
四半期純利益	1,650,542	603,240

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,654,582	564,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,660	125,169
為替換算調整勘定	130,901	32,321
退職給付に係る調整額	-	1,881
持分法適用会社に対する持分相当額	120,755	37,489
その他の包括利益合計	256,317	196,862
四半期包括利益	1,910,900	760,892
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,897,266	799,706
少数株主に係る四半期包括利益	13,634	△38,814

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	46,239,005	3,017,383	511,945	49,768,334	—	49,768,334
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	114,055	2,423	718,924	835,403	△835,403	—
計	46,353,060	3,019,807	1,230,870	50,603,738	△835,403	49,768,334
セグメント利益又は損失(△)	3,407,761	△239,256	108,862	3,277,367	△1,301,353	1,976,013

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,301,353千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,298,531千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	46,388,081	2,511,307	519,452	49,418,841	—	49,418,841
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,829	2,593	861,385	980,807	△980,807	—
計	46,504,911	2,513,900	1,380,837	50,399,649	△980,807	49,418,841
セグメント利益又は損失(△)	2,484,795	△147,518	161,234	2,498,511	△1,395,278	1,103,233

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,395,278千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,384,942千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。